

横浜市小学校社会科研究会

6学年部会②

研修会記録

第6号

令和5年 12月6日

横浜市小学校教育研究会

会長 濱田 哲也

横浜市小学校社会科研究会

会長 加藤 和之

同 学年部長 金井 伸一

【提案日時】

11月1日(水)

提案 坂本 実 先生(川和東小)

【会場】

平沼小学校

司会 能登 清仁 先生(阿久和小)

記録 高木 琴子 先生(黒須田小)

1. 授業者より

- ・発言はよくあり、意見が繋がることも多い一方で、運動会明けの疲れが見えているからか、最近は発言がなく雰囲気殺伐としている。当日はどうなるのか、ときどきしている。
- ・本時の学習課題について、皇国思想が入り難いということから、材として「富岡製糸場」を取り扱うことを通して、「新しい政府は、どうやって日本を発展させたのだろう。」という学習課題にしてよいのか。
- ・本時は、工場を作ったときの収支を比較して、なぜ赤字にも関わらず工場を作ったのかを議論したい。
- ・「近代化」としても「富岡製糸場」は扱っても良いか。和田英さんを扱っても良いか。
- ・資料としては、数字、お金に関するもの(工場を作ったときの収支)を出していきたい。
- ・工女の募集要項、工場を作ったときの収支の資料を2つ出すか、検討したい。

2. 検討

【単元について】

- ・「富岡製糸場」を単元・本時で扱う。→扱うタイミングは精査が必要。

【資料について】

- ・資料は精選する。

→工女の募集要項…前時の学習とのギャップを児童が感じる。

(工場で働く待遇がいい。→なぜ3年しか働けない?)

→地図…「富岡製糸場」を模範として全国に広まった凄さは、どのタイミングで見せればよいか。また、情報量が多すぎないか。(工女の募集要項を先に見せて、地図でどのように)

- ・和田英と年表資料はどう扱えばよいか。

→導入で年表、和田英の紹介、全国に広まった…という流れ。

世話人校長先生より 大曾根小学校 宮本 雅司 校長先生

- ・「近代化」にも「富岡製糸場」として扱いやすい。
- ・工女の募集要項から、和田英さんにつなげていく。
- ・単元を見通して、「富岡製糸場」をどのタイミングで入れれば良いか、検討が必要。
- ・ここからは授業者の判断になることも多く、当日の雰囲気は気になるが、当日の授業を楽しみにしている。

文責 坂本 実(川和東小学校)